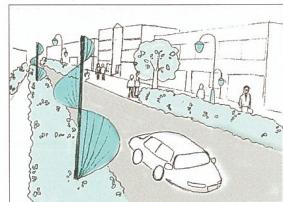
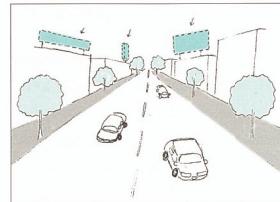


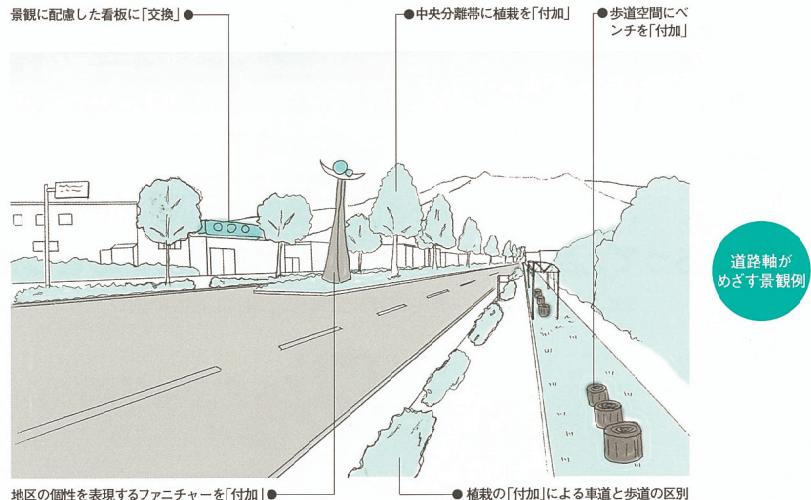
●沿道の緑化を推進することで、安全で快適な道路軸景観が生まれます。



●ストリートファニチャー、照明に配慮することで、沿道地区に特色が生まれます。

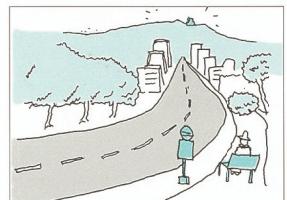


●景観を阻害する広告物・工作物を規制したり、電線・電柱を地中化することにより、美しい景観となります。

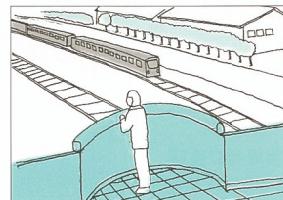


13

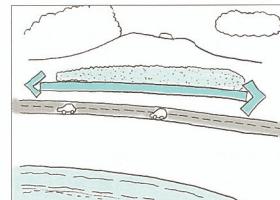
●電話ボックス、バス停、ベンチなどを設けることで、ランドマーク、アイストップなどの「視点」が生まれます。



●陸橋など橋の上に、立ち止まって休めるところをつくると、橋からの眺望をいかすことができます。

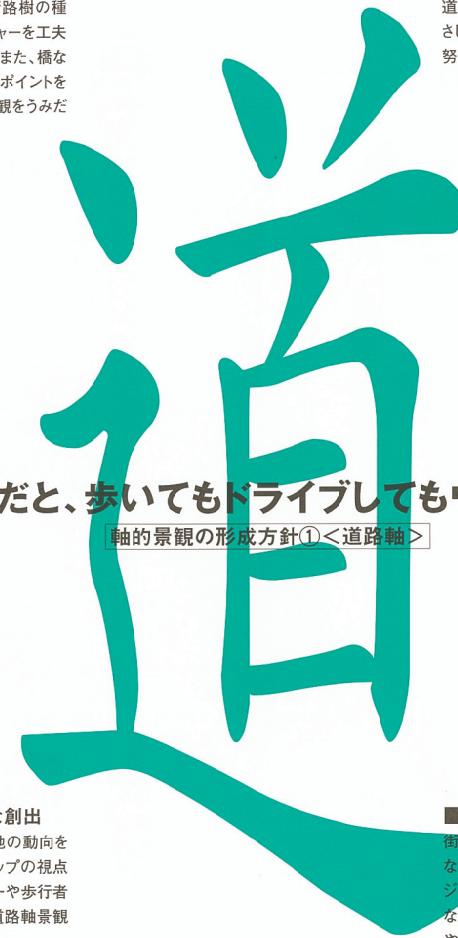


●東西方向の道路軸を強調することにより、吉小牧の地勢をいかすような景観が生まれます。



幹線道路が東西にのびる吉小牧では、どうしても道路軸景観も単調になります。これを眺めていて楽しい変化のあるものにするためには、地域ごとに街路樹の種類を変えたりストリートファニチャーを工夫していくことが必要となります。また、橋など眺望がひろがる地点に景観ポイントを設けることで、奥行きのある景観をうみだすことができるでしょう。

■安全で快適な道路
起終点や沿道地区的土地利用、交通目的に応じて、道路、歩道空間の形成と沿道宅地の規制誘導をはかり、高齢者にやさしく、災害に強い道路軸景観の形成に努めます。



軸的景観の形成方針①<道路軸>

14

■ランドマークの計画的な創出
地形、沿道の自然環境、市街地の動向をいかし、ランドマーク、アイストップの視点を計画的に創り出し、ドライバーや歩行者にとって楽しく、パノラマ的な道路軸景観の形成に努めます。

■地区ごとの変化
街路樹の選定に工夫をこらすなど個性的な道路軸景観の形成を進め、地区のエッジ(端部)では、計画的に眺望点を設けるなど地区ごとで変化をつけ、多様でわかりやすい道路軸景観の形成に努めます。

■眺望点となる橋の創出
鉄道、河川と立体的に交差する橋梁部は、周辺の見通しの広がる眺望点となるよう、奥行きのある道路軸景観の形成に努めます。



発展する郊外の市街地

吉小牧の
都市景観の
問題と課題

1

自動車依存型の市街地で、中心部の衰退、
郊外部への諸活動の流出を引き起こしている。

樽前山と太平洋をむすぶ河川や橋からの眺望は、山から海へとづく奥行きのある景観をうみだしてくれます。また谷間部、湿原部、河口部など多彩な表情と生態系を有しています。この特徴をさらにいかすことにも、水や緑、土や風などを感じながら市民が憩うことのできる親水空間として河川軸をとらえ、自然系のネットワークとしていくことが大切となるでしょう。

山と海をつなぐ川って、私たちと自然をむすんでくれる糸なんだ。

軸的景観の形成方針②<河川軸>

15

■生態的な景観

河川は河口部、湿原部、谷間部と多様な表情や生態環境をもち、水、河床、沿岸、高水敷と断面的にも有機的な土壤的生態環境をもっているという認識に立って河川軸景観の形成に努めます。

■眺望をいかす

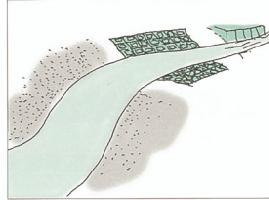
河川敷や橋は太平洋や樽前山、市街地のスカイライン、川そのものを眺望する見通しの広がる場所となるよう山の手、海の手の奥行きの眺望をいかした河川軸景観の形成に努めます。

■安全でうるおいのある河川

河口部、下流部(市街地部)、中流部(海食崖部)、上流部と、河川の地形特性に応じて安全でうるおいのある河川軸景観の形成に努めます。

2

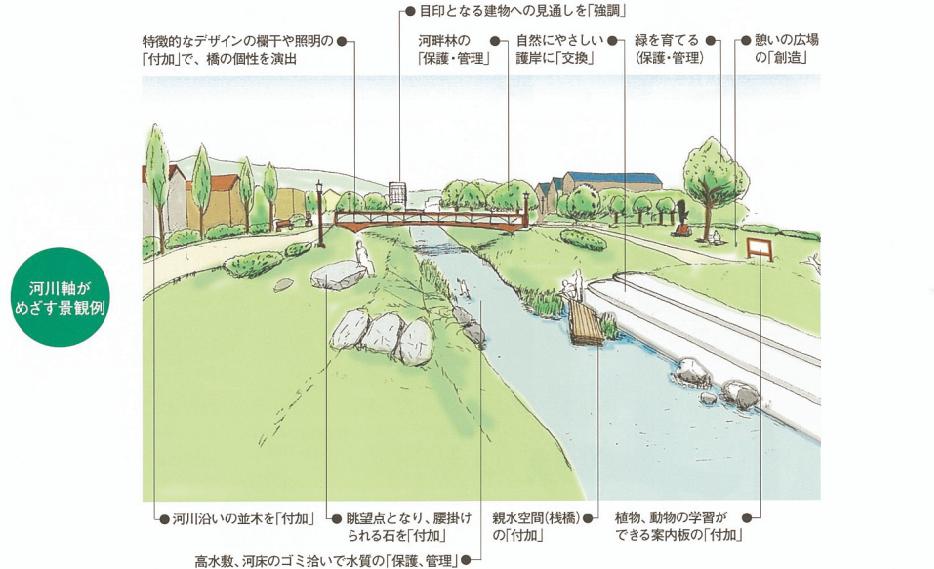
市街地の景観が単調、
また水辺に対する不満がありました。



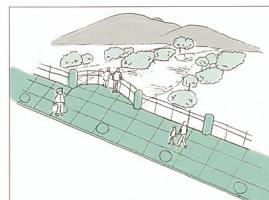
●河川の上・中・下流域のそれぞれにおいて、地形の変化に対応した護岸をつくります。



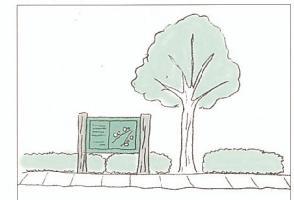
●河川敷を整備し、人が安全におりられるようにすると、憩いの場所が生まれます。



16



●橋の上に立ち止まる空間をつくることで、樽前山など橋からの眺望をいかすことができます。



●河畔に河川の環境に関する掲示板を設置することで、河川が「学習体験の場」となります。

東西に長いというまちの形状から、市街地を通る幹線道路も単調な印象をあたえています。また、市民の声として「河川敷や橋からの眺めがよくない」「港や海になじみが少ない」といった指摘がありました。



東西にのびる幹線道路